

全建発第5-134号
令和5年 9月19日

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和
(公 印 省 略)

令和5年度 実地研修会（大河津分水路改修事業）の開催について

謹啓 本会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、本協会では、標記実地研修会を別紙のとおり開催いたします。

本実地研修会では、信濃川の治水事業の歴史について研修するとともに、大河津分水路の令和の大改修事業、BIM/CIMの高度活用等について学ぶことを目的としています。

つきましては、貴協会の技術力研鑽の活動としてご活用いただきますようお願いいたします。

謹白

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸・黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX03-3586-6640 MAIL kensyu@zenken.com
--

全建発第5-135号
令和5年 9月19日

国土交通省地方整備局 企画部長 殿
都道府県 建設関係部局長 殿
市町村長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和
(公 印 省 略)

令和5年度 実地研修会（大河津分水路改修事業）の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした団体です。

本会では、建設技術講習会（10開催/年）と実地研修会（5コース/年）を実施しており、建設技術講習会では、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからのインフラの維持管理・更新、現場の生産性を高め、働き方改革を進めるための i-Construction の推進に向けた取組など、建設事業の実施に当たって特に重要な課題を取り上げることとしています。また、実地研修会では、明石海峡大橋、大河津分水路改修事業など、一般に視察が困難な現場等を少数で視察することとしています。

これらの講習会・研修会は、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっています。

本実地研修会では、信濃川の治水事業の歴史について研修するとともに、大河津分水路の令和の大改修事業、BIM/CIM の高度活用等について学ぶことを目的としています。

つきましては、本実地研修会を研修の場として活用されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

(一社)全日本建設技術協会 事業課 杉戸・黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX03-3586-6640 MAIL kensyu@zenken.com

令和5年度 実地研修会 大河津分水路改修事業 ～信濃川の治水事業の歴史と大河津分水路改修事業～ 概要

(1日目) 開場14:00	令和5年11月21日(火) 【聴講】	(敬称略)
14:40 ↳ 大河津分水と信濃川 15:30	Love River Net (らぶりばーねっと) 代表	樋口 勲
15:40 ↳ 大河津分水路「令和の大改修」事業について 16:30	国土交通省北陸地方整備局 信濃川河川事務所 所長	福島 雅紀
17:30～19:00 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ 会費2,000円(予定)> (会場等調整中)		
(2日目) 集合(乗車) 8:10～	11月22日(水) 【現場研修】	
<p>J R新潟駅南口(PLAKA1前) (8:30) 出発</p> <p>→ 信濃川大河津資料館/可動堰/洗堰 他 → 昼食(長岡市内)</p> <p>→ 新第二床固/新野積橋架替/山地部掘削 他</p> <p>→ J R燕三条駅(15:25) → J R新潟駅南口(16:00) 着後解散</p> <p>※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。</p>		

全建CPD(継続教育)制度認定プログラム 【聴講】1.5単位、【現場研修】1.5単位

聴講会場 ガレソホール
新潟県新潟市中央区花園1-2-2 コープシティ花園ガレソ 4F TEL:025-248-7511

現場研修事業の概要

1 大河津分水路改修事業 [実施主体：北陸地整]

……………新潟県燕市、長岡市

【大河津分水路の役割】

大河津分水路とは、新潟県のほぼ中央部で信濃川が日本海に最も近づく地点の燕市大川津から長岡市寺泊海岸までの全長約10kmを繋いだ大正11（1922）年8月25日に通水した人工水路です。この分水路は、日本有数の穀倉地帯である越後平野を水害から守る重要な役割を担い、信濃川の洪水を日本海へ流すことで、越後平野の発展に寄与してきました。令和4（2022）には通水から100周年を迎えました。

【改修の必要性】

大河津分水路の川幅は、信濃川の分派点付近で約720mであるのに対して、河口部では約180mと狭くなっているため（図1）、洪水が流れにくく、洪水処理能力が不足しています。また、河床低下を防ぐために設置された第二床固は、設置から約90年が経過し、コンクリートの劣化によるひび割れなどの老朽化が進行しています。（図2）。

これらの課題を解決するため、平成27年度より川幅を約100m拡幅し、第二床固の下流に新たな床固を設置する事業に着手しています（図3）。この事業により、大河津分水路の上流に位置する長岡地区の洪水処理能力も向上し、信濃川水系全体の洪水処理能力を向上させることにつながります。

【事業実施状況】

現在、河道拡幅のための山地部掘削、河道拡幅に伴う野積橋の架替、第二床固改築工事を鋭意実施しています。

現況河道部の第二床固の改築工事は、河道内での工事となることから、鋼殻ケーソンを利用してコンクリートを打設しています。これまでに現況河道部の3函分（図4の①～③）の設置が完了し、河道中央部④～⑥の工事を実施しています（令和5年5月時点）。

また、本事業では、「3次元データ」を活用し、施工状況を可視化するなどし、事業の効率化を目的とした取り組みも行っています（図5）。

【令和元年東日本台風洪水を受けての事業計画変更】

事業着手後の4年目に発生した令和元年東日本台風による洪水は、信濃川水系において戦後最大規模の洪水となりました。

上流部の千曲川では、越水による堤防決壊が発生するなど甚大な被害が発生しました。

大河津分水路においても計画高水位を約10時間も超過するなど、非常に危険な状態となりました（図6）。これを受け、令和元年東日本台風洪水と同規模の洪水に対して、家屋の浸水被害の防止又は軽減を図るため、河川整備計画を令和4年12月に変更しました。これに伴い、大河津分水路改修事業においても、上流の低水路拡幅のための掘削を追加し、事業期間も令和20年度まで変更しました（図7）。



図1 大河津分水路の河道形状



図2 老朽化が進行する第二床固



図3 現在の事業実施状況



図4 第二床固改築工事の進捗状況

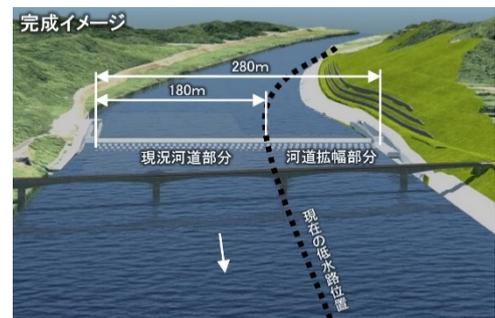


図5 3次元データを用いた事業の完成イメージ



図6 令和元年東日本台風洪水時のJR越後線地点での流況

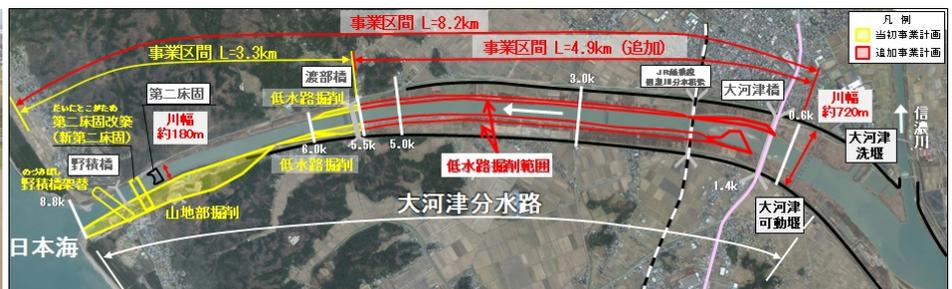


図7 大河津分水路改修事業計画図 (令和4年12月変更)

令和5年度 実地研修会（大河津分水路改修事業）
～信濃川の治水事業の歴史と大河津分水路改修事業～ 募集について

① 日 程：

令和5年11月21日（火）

【聴講】（開場14:00～）14:40～16:30 ガレソンホール

新潟県新潟市中央区花園1-2-2

コープシティ花園ガレソン 4F TEL:025-248-7511

（別紙「聴講会場及び現場研修集合場所案内図」参照）

令和5年11月22日（水）

【現場研修】8:30～16:00

（集合）JR新潟駅南口（PLAKA1前）（8:30）出発

→ 信濃川大河津資料館／可動堰／洗堰 他 → 昼食（長岡市内）

→ 山地部掘削／新第二床固／新野積橋架替 他

→ JR燕三条駅（15:25）→ JR新潟駅南口（16:00）着後解散

② 募集人数：40名（マイクロバス2台）

③ 旅行代金：一般（非会員）……………20,900円（税込）

（研修料）正会員・特別会員・賛助会員……………17,900円（＼）

一般／会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

研修料は、1～2日目の費用です。斡旋宿舎の宿泊料は含みません。

現場研修時の昼食代（1,540円、税込）を含みます。なお、行程の都合上、全員の昼食を用意します。不要の申し出はできませんのでご了承下さい。

④ 申込方法：申込書に必要事項を記入し、メールにて西鉄旅行（株）にお申込み下さい。

申込者数が募集定員以内の場合、参加できる旨をご通知します。

申込者数が募集定員を超えた場合、（一社）全日本建設技術協会にて選考しその結果をご通知します。

選考の通知は、10月27日頃を予定しています。

旅行代金（研修料）の振込みは、選考結果の通知後にお願いします。

<個人情報の取り扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に実地研修会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

⑤ 申込締切日：令和5年10月24日（火）正午まで（必着）

（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

⑥ 申込先：西鉄旅行（株）東京団体支店 Mail nishitetsu@zenken.com

申込のお問合せ 全建担当デスク

TEL 03-6742-0324 FAX 03-6742-0328

⑦ 送金先：みずほ銀行 京橋支店 普通 1227472 ニシテツリョコウ（カ）

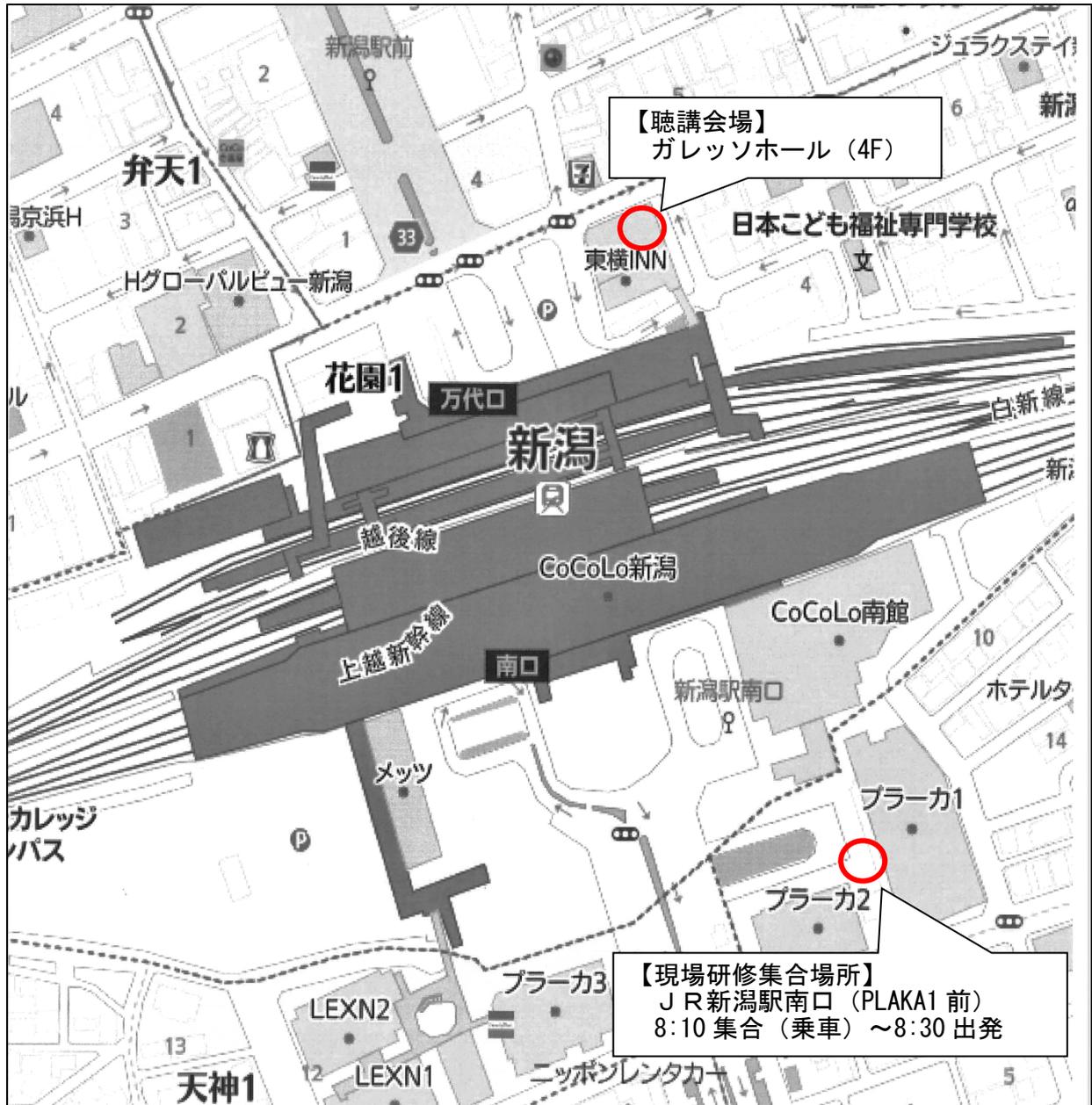
- ⑧ **変更・取消し**：申し込みの変更又は取消しが生じた場合、申込用紙に変更箇所がわかるように記入し、メールタイトルに「変更」又は「取消」と明記の上、⑥の申込先宛にメールで送付して下さい。なお、取消しの場合には、取消日に応じて下記の取消料が発生します。
 ※電話での変更・取消しは受付できません。

【取消料】

取 消 日	取 消 料
20日前～8日前	研修料の 20%
7日前 ～前々日	研修料の 30%
前日	研修料の 40%
当日	研修料の 50%
無連絡不参加及び開始後	研修料の 100%

- ⑨ **添 乗 員**：(一社) 全日本建設技術協会 事務局員と西鉄旅行(株) 添乗員が同行します。
- ⑩ **そ の 他**：研修料の領収書は、入金確認後、送付いたします。視察資料は当日集合場所にて、参加証は終了後にお渡しいたします。
 参加者には、国内旅行傷害保険を掛けさせていただきます。
 事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。
 詳しい取引条件を説明した書面を事前にご確認の上お申込み下さい。
- ⑪ **視 察 企 画**：(一社) 全日本建設技術協会 東京都港区赤坂3-21-13 キーストーン赤坂ビル
 視察のお問合せ 事業課 杉戸、黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX 03-3586-6640
 MAIL kensyu@zenken.com
- ⑫ **旅行企画実施**：西鉄旅行(株) 東京団体支店
 東京都港区東新橋1-8-3 汐留エッジ8階
 観光庁長官登録旅行業第579号 TEL 03-6742-0324 FAX 03-6742-0328
 (一社) 日本旅行協会正会員 MAIL zenken@nnr-g.com

聴講会場及び現場研修集合場所案内図



宿泊斡旋のご案内

- ① **宿泊斡旋**：宿泊希望者には新潟市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。
 なお、宿泊代金につきましては、西鉄旅行（株）にお支払いください。
- ② **宿泊予約申込**：別紙申込書に必要事項を記入しお申し込み下さい。
 選考にもれた場合、宿泊申込みは自動的にキャンセルになります。
- ③ **申込先**：西鉄旅行（株）東京団体支店 Mail nishitetsu@zenken.com
申込のお問合せ 全建担当デスク TEL 03-6742-0324 FAX 03-6742-0328
 （営業時間 9:30～18:00 休業日 土日祝）
 申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。
- ④ **取り消しについて**：

宿泊日の3日前～	宿泊日前日	宿泊当日 及び無連絡不泊
宿泊代金の20%	宿泊代金の50%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
 取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

⑤ **斡旋する宿舎名、宿泊料**

令和5年11月21日(火)

(1泊朝食付、サービス料・消費税込み)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	斡旋人数	宿泊代金
アートホテル新潟駅前 〒950-0911 新潟県新潟市中央区笹口 1-1 TEL: 025-240-2111	シングル	15名	9,000円

※申込締切後、参加者が決定次第、西鉄旅行（株）より「宿泊案内」が送付されます。
 ※喫煙をご希望の場合は申込書にて喫煙希望を記載ください。記載がない場合は禁煙にてご用意します。
 ※定員を超えた場合は代替ホテルでのご案内になります。予めご了承ください。

【斡旋宿舎及び会場の案内図】



令和5年度 実地研修会（大河津分水路改修事業）に参加の皆様へ
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します！



（一社）全日本建設技術協会の建設技術講習会・実地研修会は、全国から多くの方々にご参加いただいています。この機会を、参加者同士が交流を図り、意見交換・情報交換を行うことで知見と人脈を広げ、今後の業務に役立てていただくため、必要とされる感染防止措置を講じた上で、「参加者同士の交流会」を開催する予定です。

この交流会は、講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流を図る場でもあります。ぜひ、皆様のご参加をお待ちしています。

日時：令和5年11月21日（火） 17:30 ~ 19:00（予定）

場所：調整中（新潟駅周辺の飲食店を予定）

会費：2,000円（予定）
（受付時にお支払いいただきます）

- ※新型コロナウイルス感染症拡大等の状況により、開催を中止とする場合があります。
- ※参加希望人数によって、開催を中止とする場合があります。
- ※開催時間は変更になることがありますので、開催当日にご案内いたします。
- ※参加希望の方は、申込書の「交流会」欄に〇印を記入して下さい。
- ※この交流会は会費制です。
- ※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
- ※服装は特に問いません。



1. 研修会の参加者同士の交流促進を図る
 - ①参加者の知見と人脈を広げる（名刺交換）
 - ②意見交換・情報交換
 2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
- ※都合により内容が変更になる場合があります。

＜問合せ＞ （一社）全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com